



# 家畜のエサになるお米



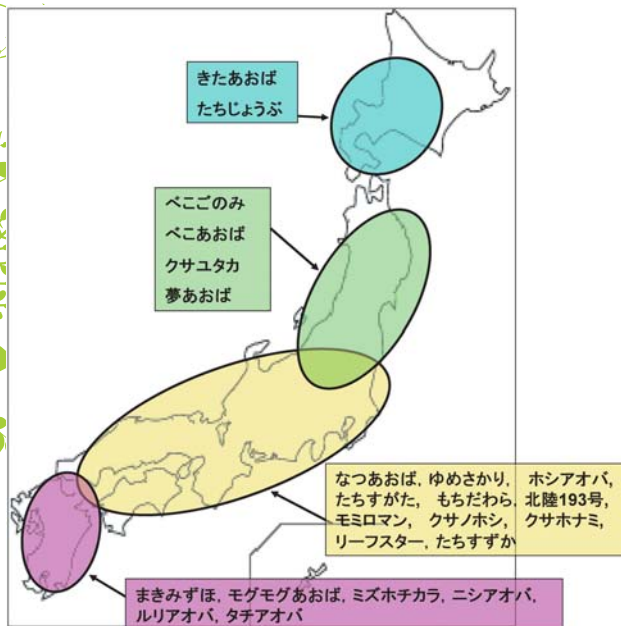
日本の飼料自給率は約25%です。

飼料自給率が上がれば、食料自給率も上がります。

そこで、家畜のエサになるお米の品種を作りました。

- 1) お米をエサにする品種（お米がたくさん取れる）→ブタ・ニワトリ用
- 2) 牧草のように稲株全体をエサにする品種（茎や葉が大きい）→ウシ用

これまでに、家畜のエサ用品種を23品種作り、日本全国の水田でエサ用の稲品種の栽培ができるようになりました。



茎や葉が大きく、稲株全体をウシのエサにする品種「リーフスター」

草丈が高いですが倒れにくく、ウシが消化しにくいリグニンの量が少ないため、良質のエサになります。

地域別のエサ用稲品種



農研機構

NARO 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

作物研究所

〒305-8518 つくば市観音台2-1-18  
Tel: 029-838-8260 Fax: 029-838-7488  
メール: www-nics@naro.affrc.go.jp